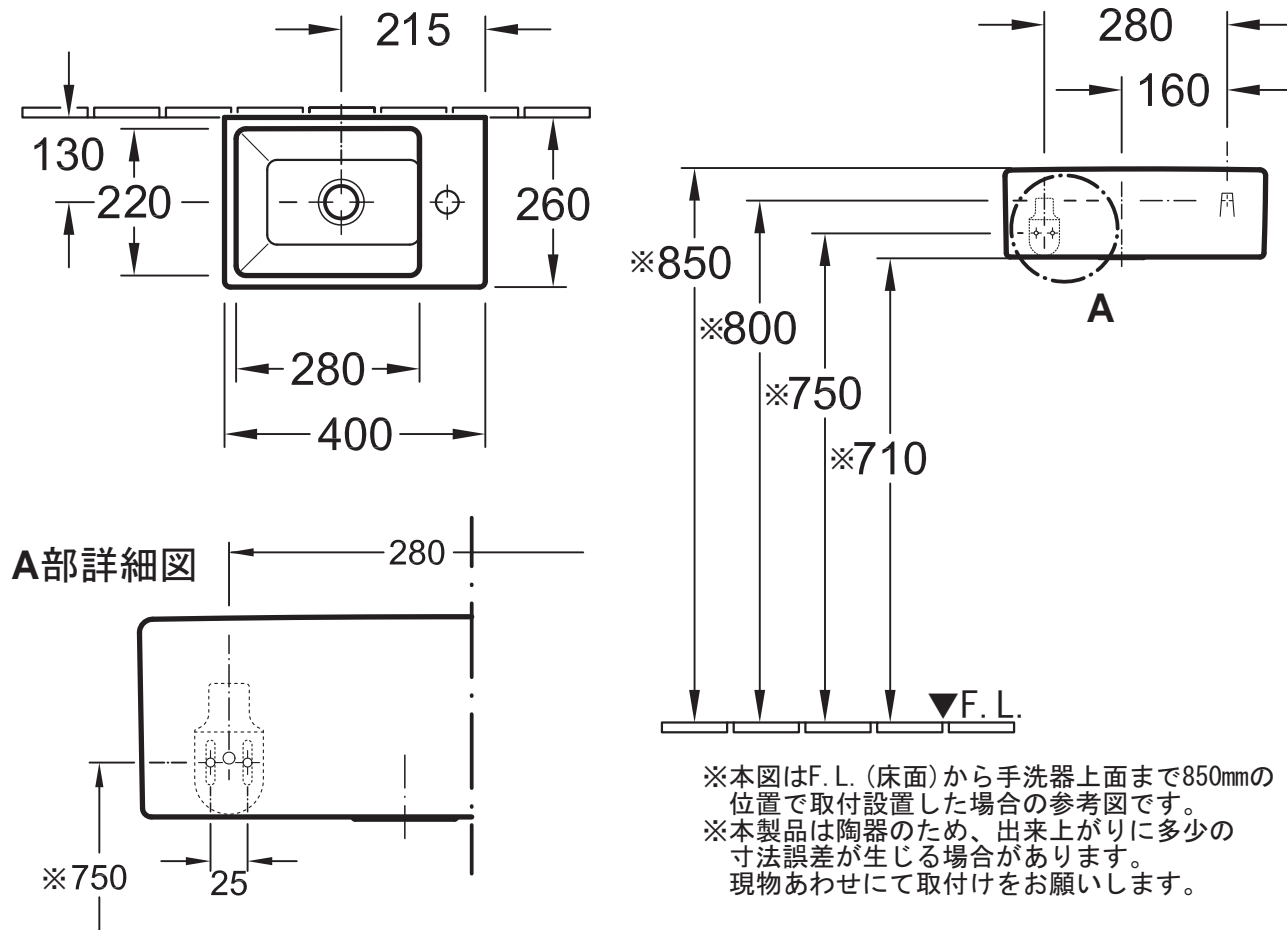


## 2-2. 取付設置図

5333.41.01 壁付手洗器取付設置図

手洗器重量 9kg  
手洗器容量 2.7L



### ! 使用上のご注意 (必ずお読みください)

用途以外のご使用はしないでください。事故の原因となります。

- ・取付設置店様は取付設置終了後、正常に作動する事を確認するとともに、お客様に使用方法・お手入れの仕方を説明して下さい。
- ・本製品に登ったり、ぶらさがったり、もたれたりしないで下さい。また、たたく・ぶつける等衝撃を与えないで下さい。
- ・陶器の手洗器は、硬い物を落下させると破損してしまいますのでご注意下さい。
- ・冷水・熱湯をかけたりしないで下さい。また、高熱の機器を近くに置かないで下さい。
- ・修理技術者以外は修理改造を絶対に行わないで下さい。

## 3. お手入れ方法

本製品がいつまでも美しさを保つよう下記に従ってお手入れしてください。

- ・手洗器の汚れは浴室用洗剤等をスポンジにつけて磨きます。磨いた後は布などで水拭きし、最後に空拭きをして下さい。
- ・排水口にヘアキャッチャーが付属している場合は、引き上げて取り出しゴミを取り除いた後、水洗いしてぬめりを落として下さい。

製造元



ビレロイ&ボッホ社(ドイツ)

輸入総代理店

株式会社 **リラインス**

〒160-0023

東京都新宿区西新宿6-6-3  
新宿国際ビルディング新館9階

製品についてのお問い合わせは

・TEL 03-5909-0503~4

・FAX 03-5909-0518

<https://www.le-bain.com>

2018.01

**リラインス**

取付設置・取扱説明書

取付設置、ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しく取付設置、ご使用ください。  
お客さまへ・・・本書はお読みになった後も、お使いになる方が必要な時にいつでも読める様、大切に保管してください。  
工事店様へ・・・取付設置後は、本書をお客様へお渡しください。



Villeroy & Boch 壁付手洗器

該当品番 : 5333.41.01 8749.34.D7

## 1. 部品確認

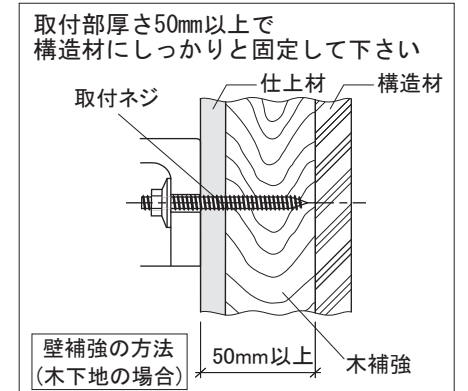
1) 下表を基に部品の数量確認を行って下さい。

同梱部品					
Villeroy & Boch 壁付け手洗器 5333.41.01					
①ポウル本体	②樹脂プラグ(大)	③ハンガーボルト (M8×120mm)	④樹脂ナット	⑤ナット *手順4)でのみ使用	⑥取付設置・取扱説明書
1台	1ヶ	1本	1ヶ	1ヶ	1枚
⑦バックハンガー	⑧樹脂プラグ(小)	⑨取付ネジ			
1ヶ	2ヶ	2本			

Villeroy & Boch 壁付け手洗器用タオルカケ 8749.34.D7							
①タオルカケ	②ゴムプラグ	③全ネジ	④ワッシャー	⑤ナット ※本製品には 使用しません。	⑥化粧ナット	⑦六角穴付ボルト ※本製品には 使用しません。	⑧六角レンチ
1台	2ヶ	2本	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1本

### ! 取付設置前のご注意 (必ずお読みください)

- ・取付けは本書の通りに実施し、取付設置店様が行って下さい。誤った取付は事故やケガの原因となります。
- ・高温になる場所へは設置しないで下さい。
- ・取付設置時はポウル本体表面にカバーをかけるなどし、キズがつかないようにご注意下さい。
- ・取付設置図に表記してある本体重量に耐え得る、強度のある壁面へ取付けて下さい。壁面を補強する際は、取付部が十分な厚さとなるよう壁裏へ補強木等を設けて下さい。壁の強度や本体の固定が不十分な場合、外れが生じたりガタツキの原因となります。



## 2-1. 取付設置方法

本手順はコンクリート壁・モルタル壁への取付設置例です。  
木造壁および補強木への取付設置には、樹脂プラグを使用しないで下さい。

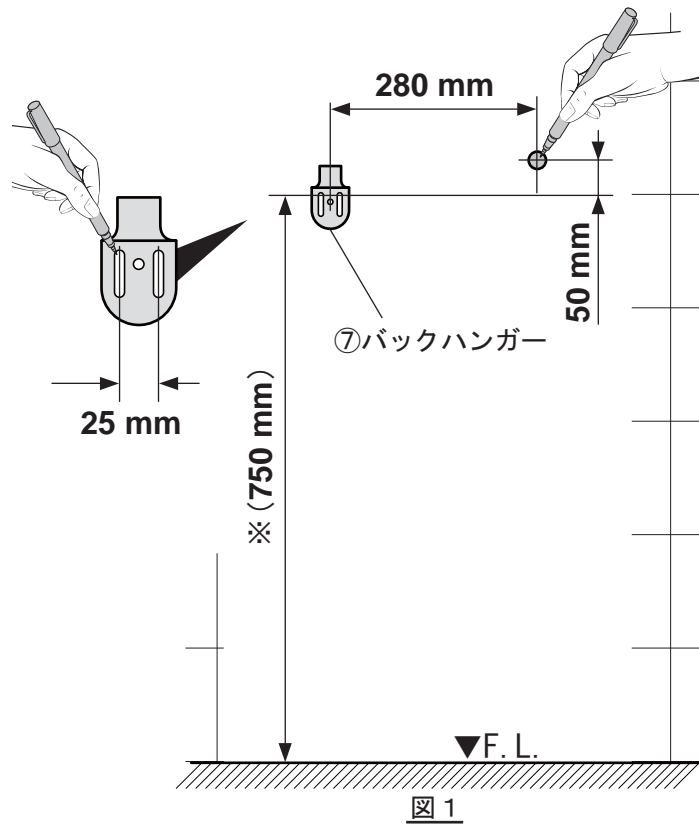


図1

- 1) 左図(図1)及び施工図をもとに、取付穴位置にマーキングを行います。  
⑦バックハンガーは取付位置に当ててマーキングして下さい。

※左図及び施工図はF.L. (床面) から手洗器上面まで850mmの位置で施工した場合の参考図です。

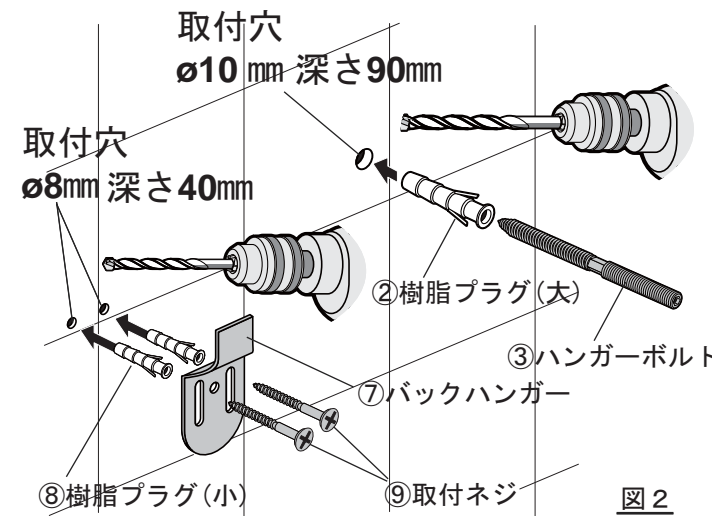


図2

- 2) それぞれの位置に指定の取付穴を開けます(図2)

取付穴に②樹脂プラグ(大)・⑧樹脂プラグ(小)を差し込みます。(図2)

- 3) ③ハンガーボルトへ⑤ナットを締め込みます。(図3)

- 4) ③ハンガーボルトに締め込んだ⑤ナットをスパナもしくはモンキーレンチで回し、②樹脂プラグに③ハンガーボルトをねじ込みます。(図3)

- 5) ⑤ナットを③ハンガーボルトから外します。このとき、③ハンガーボルトの壁仕上面からの突出寸法が最小50mm~最大55mm以内であることを確認して下さい。(図4)

- 6) ⑦バックハンガーを⑨取付ネジにて取付けます。(図2)

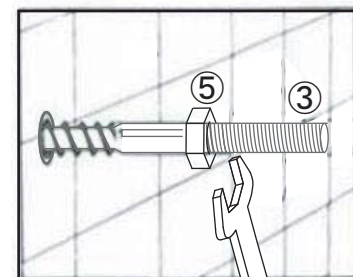


図3

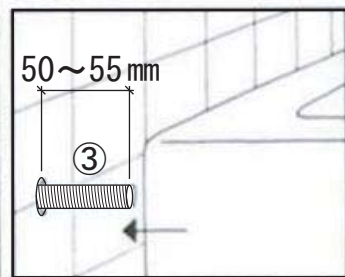


図4

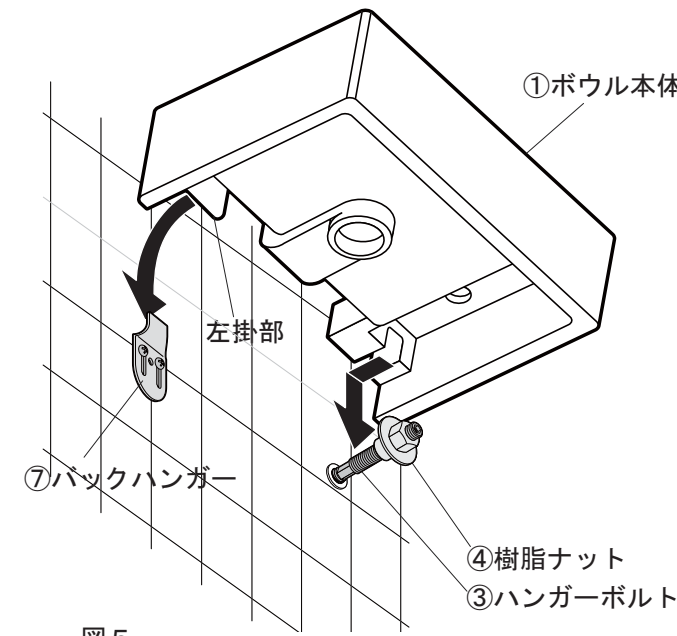


図5

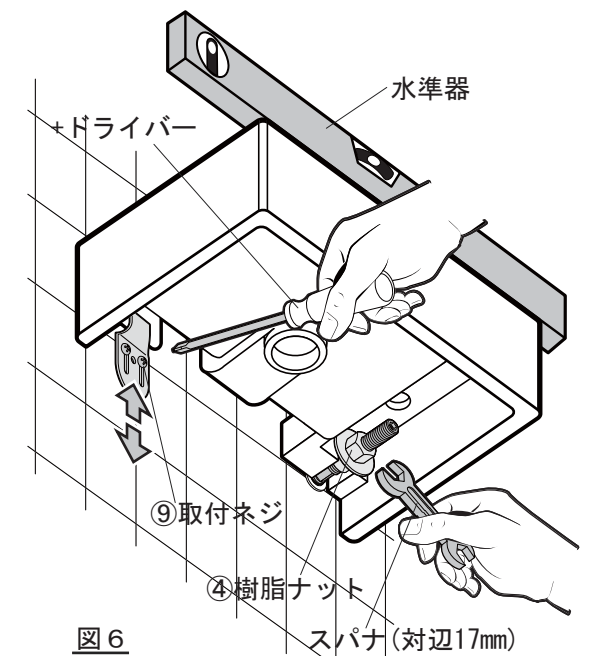


図6

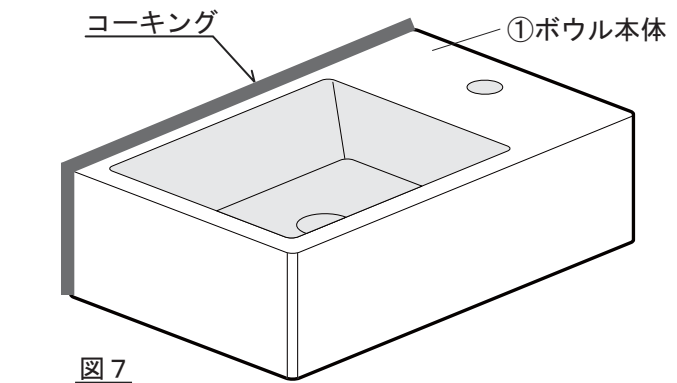


図7

- 7) ⑦バックハンガーに①ボウル本体の左掛部を装着し③ハンガーボルトに④樹脂ナット締め込み①ボウル本体を挟み仮締めします。(図5)

- 8) ①ボウル本体が水平になっていることを水準器にて確認し、④樹脂ナット及び⑨取付ネジを本締めして固定します。(図6)

- 9) 水漏れなどを防ぐために、①ボウル本体の壁取付面周辺(壁との接触面周辺)をコーキングして下さい。(図7)

### 8749. 34. D7 タオルカケ取付設置方法

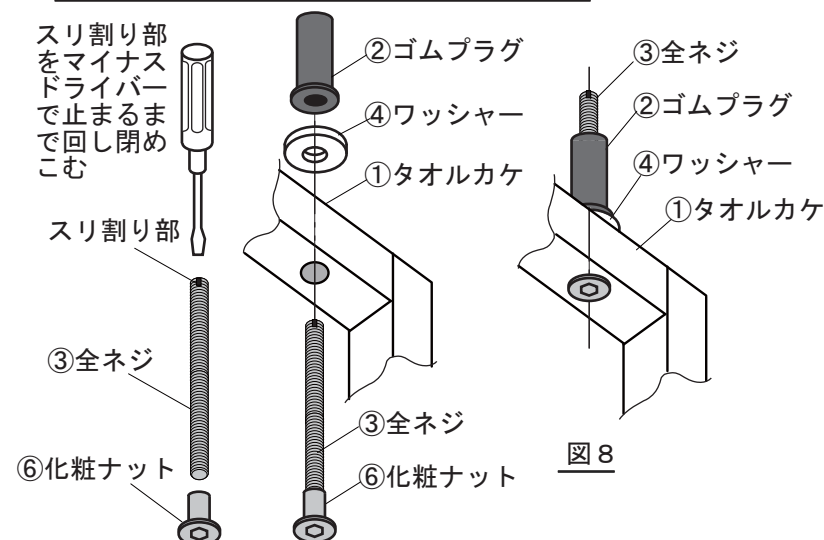


図8

- 1) ③全ネジと⑥化粧ナットをマイナスドライバーで締め込みます。それを①タオルカケに通し④ワッシャー②ゴムプラグを組付け仮止めします。計2箇所(図8)
- 2) 1)の項目で組付けた①タオルカケをボウル本体裏面前部の取付穴2箇所に差込みます。  
⑥化粧ナットを⑧六角レンチで締め込み、①タオルカケを固定します。最後に①タオルカケがしっかりと取付いている事を確認下さい。(図9)

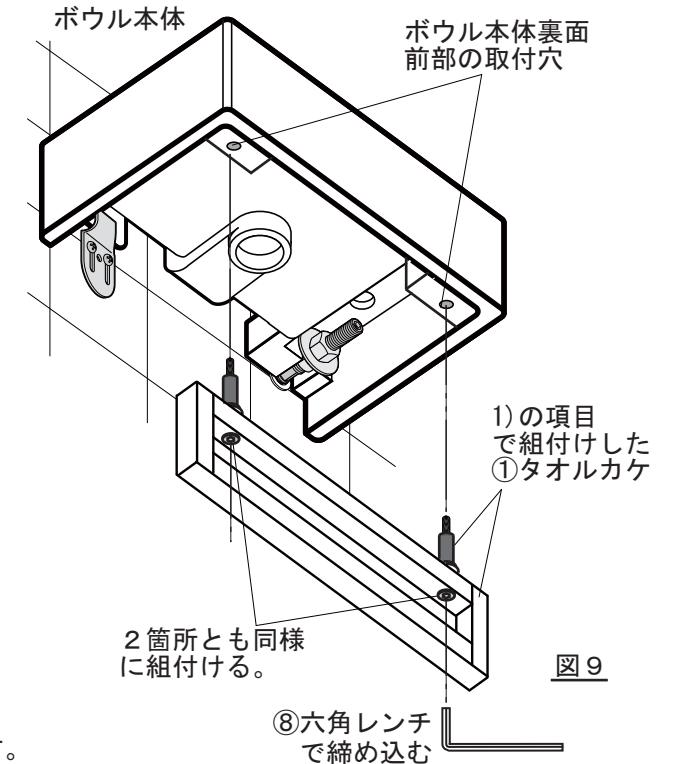


図9